

## 平成 30 年度社会連携事業実施案内

### 「プロジェクトマネジメント概論」

平成 30 年 11 月 14 日（水）、15 日（木）、16 日（金）3 日間

#### 1. 授業概要

プロジェクトマネジメントの基礎、大型プロジェクトの実施例について広く学び、プロジェクト運営能力や課題解決能力の向上を目指す。講師は長谷川義幸・元 JAXA 国際宇宙ステーションプログラムマネージャー。

本講座は、授業科目ではないため単位は付与されません。

#### 2. 日程

日時	時間数 (分)	講義と演習
11/14 13:30-15:10	100	物理科学・高エネルギー加速器科学研究科におけるプロジェクト —核融合、高エネルギー加速器、宇宙—
11/14 15:30-17:00	90	プロジェクトマネジメント入門 - PM はなぜ必要になったか、失敗事例（大型客船、新幹線構想）
11/15 9:00-10:30	90	プロジェクトにおけるチームオペレーションと心理学
11/15 10:45-12:15	90	プロジェクトマネジメントのインテグレーションマネジメント - 意思決定の仕組み、フェーズプロセス、コンセプトフェーズほか
11/15 13:30-15:00	90	「きぼう」日本実験棟開発でのプロジェクトマネジメント - 「きぼう」構想、ロボットアームの安全問題ほか
11/15 15:30-17:00	90	「きぼう」日本実験棟開発でのプロジェクトマネジメント - 「きぼう」開発概要、マネジメントの問題ほか
11/16 9:00-10:30	90	宇宙開発のリスクマネジメント - アポロ 1 号火災、アポロ 13 号事故ほか
11/16 10:45-12:15	90	宇宙開発のリスクマネジメントと自由討議 - 「きぼう」の安全解析、ハザード制御、安全マネジメント-

#### 3. 開催場所：宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所相模原キャンパス

(〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台 3-1-1)

#### 4. 担当教員：

総合研究大学院大学

核融合科学専攻 教授 榊原悟

宇宙科学専攻 教授 松原英雄

宇宙科学専攻 教授 稲富裕光

宇宙科学専攻 准教授 坂尾太郎

宇宙科学専攻 教授 石川毅彦

素粒子原子核専攻 教授 宇野彰二

5. 対象者：本学および他大学の大学院生（全学年対象）

学外者についても参加可能です。なお、受講申込多数の場合は、本学の学生を優先します。

6. 使用言語：日本語

7. 参加申込方法：

①参加申込書、②正課の活動等への参加に係る移動経費希望届（学内者のみ）、及び③口座振込依頼書（学内者のみ）を平成 30 年 10 月 12 日（金）までに総合企画課広報社会連携係宛（[kouhou1@ml.soken.ac.jp](mailto:kouhou1@ml.soken.ac.jp)）に提出してください。

※参加申込書には、指導教員の署名または捺印が必要です。（申込書送付時に cc. に指導教員をご指定ください。）

※参加申込書受付確認のメールが、一週間以上経過しても届かない場合は、総合企画課広報社会連携係にお問い合わせ下さい。

※ご記入頂いた個人情報、本レクチャー実施の目的に限り使用します。

8. 経費支援：

- ・本学の学生には、本学規程に基づき学生移動経費（交通費の一部及び宿泊費（所定額））が支給されます。但し、宿泊施設の用意はありませんので、11月14,15日の宿泊および前・後泊を希望される場合\*は、各自で宿泊の手配を行ってください。（食事代金等は自己負担）
- ・後日振込となりますので、立替えてのお支払いをお願いいたします。

9. 問い合わせ先：

◎本件プログラムの実施に関すること

総合研究大学院大学核融合科学専攻 教授 榊原悟

Tel: 0572-58-2220 E-mail: sakakibara.satoru@lhd.nifs.ac.jp

◎申込に関すること

総合研究大学院大学総合企画課 広報社会連携係

Tel:046-858-1590 E-mail:kouhou1@ml.soken.ac.jp

〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

---

### <経費支援に関する諸注意>

- ・各日、午前7時以前に自宅を出発する必要がある場合、午後11時過ぎに自宅に帰宅することとなる場合は宿泊が認められます。
- ・基盤機関の宿泊施設を利用する場合、1泊につき4,350円、それ以外の宿泊施設を利用する場合、8,700円を定額支給します。
- ・所属機関から宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所相模原キャンパスまでの交通費について、JRの乗車区間が片道100kmを超える場合、学割運賃が適用された金額での支給となるため、各基盤の専攻担当係で学割証の申請手続きを行って下さい。